



森永乳業株式会社

2024年3月期 第3四半期 決算説明会

2024年2月9日

1. 2024年3月期第3四半期決算概要
2. 2024年3月期業績見通し

1. 2024年3月期第3四半期決算概要

1. 2024年3月期第3四半期決算概要
2. 2024年3月期業績見通し

サマリー：増収増益、国内事業は進捗良好、海外事業は計画線

国内3事業*¹：増収増益

売上高：3,079億円（前年比+3.3%）
営業利益：202億円（前年差+80億円）

- ・ 価格改定（栄養・機能性食品事業および主力食品事業各カテゴリ、BtoB事業（業務用））
- ・ 高付加価値商品の拡大（「マウンレーニア」、アイスなど）、好天・人流回復寄与継続
- ・ 原料乳・原材料価格上昇の一方、エネルギーコストは抑制・良化
- ・ ビフィズス菌等のプロモーション強化（4Qでさらに強化予定）
- ・ 進捗良好

海外事業：増収減益

売上高：484億円（前年比+6.6%）
営業利益：49億円（前年差△18億円）

- ・ NutriCo Morinaga社、Turtle Island Foods社（TIF社）など、新規連結子会社の寄与もあり増収
- ・ MILEI社は前期増益の反動減
- ・ TIF社の赤字、のれん償却費の計上もあり事業計で減益も計画線

全社計*²：増収増益

売上高：4,232億円（前年比+4.4%）
営業利益：280億円（前年差+76億円）

- 国内事業は進捗良好、海外事業は計画線
- 全体としては順調な進捗

*¹国内3事業：栄養・機能性食品事業、主力食品事業、BtoB事業 *²「その他・消去」含む

2024年3月期第3四半期 業績



(億円)

	23/3期 3Q	24/3期 3Q	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	4,052	4,232	+180	+4.4%
営業利益	205	280	+76	+36.9%
経常利益	215	286	+70	+32.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	121	628	+507	+417.8%
売上高 営業利益率	5.0%	6.6%		

Point

- 増収増益
- 四半期純利益
 - ・ 24/3期1Q 東京工場跡地売却による特別利益計上：657億円

2024年3月期第3四半期 事業分野別売上高、営業利益実績



(億円)

	売上高			営業利益（営業利益率）		
	23/3期3Q	24/3期3Q	対前年増減率	23/3期3Q	24/3期3Q	対前年増減額
栄養・機能性食品事業	942	968	+2.8%	48 (5.1%)	62 (6.4%)	+14
主力食品事業	1,331	1,374	+3.3%	61 (4.6%)	101 (7.3%)	+40
B to B 事業	709	736	+3.9%	13 (1.9%)	39 (5.3%)	+26
海外事業	454	484	+6.6%	67 (14.7%)	49 (10.1%)	△18
その他・消去	616	670	+8.7%	16 (2.6%)	29 (4.4%)	+14
合計	4,052	4,232	+4.4%	205 (5.0%)	280 (6.6%)	+76

Point

- 栄養・機能性食品事業：ヨーグルト、栄養食品、クリニコ増収。原料価格上昇および価格改定。ビフィズス菌等のプロモーション費用投下
- 主力食品事業：上期に引き続き堅調。「マウントレーニア」アイスなど高付加価値商品の拡大によるPM改善。原料価格上昇および価格改定
- B to B 事業：乳製品向け乳価上昇（4月、12月）および価格改定。人流回復もあり外食等向け需要は堅調も乳製品需給影響による数量抑制継続
- 海外事業：新規連結子会社の寄与（主に売上高）。MILEI社の反動減、TIF社の赤字、のれん償却費計上などにより減益

2024年3月期第3四半期 サブセグメント売上高



(億円)

23/3期3Q 24/3期3Q 対前年増減率

Point

栄養・機能性食品事業

ヨーグルト	403	408	+1%
市乳（宅配など）	144	141	△2%
栄養食品	97	103	+6%
クリニコ	198	208	+5%

- 価格改定（4月、8月:プレーン）、「ビヒダス」「パルテノ」増収、機能性ヨーグルト計減収
- 価格改定（4月:「絹とうふ」、8月:宅配専用商品）
- 価格改定（4月:「ミルク生活」など、6月:育児用ミルク）、育児用ミルク増収
- 介護向け等の商品堅調

主力食品事業

ビバレッジ	391	431	+10%
アイス	347	370	+7%
チーズ	188	202	+7%
牛乳	331	344	+4%
デザート	56	54	△3%

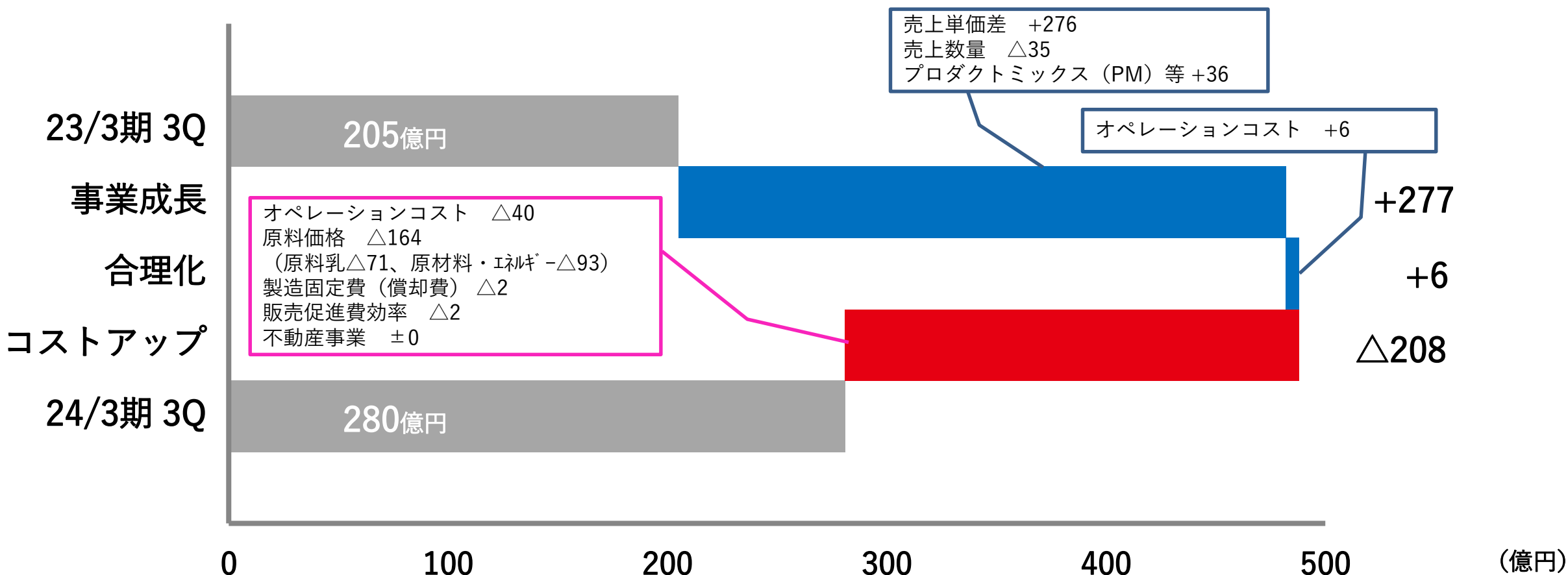
- 「マウントレニア」価格改定（23年3月）・リブランディング効果により増収、「リプトン」増収、「ピクニック」等価格改定（6月）
- 価格改定（23年3月）、主要ブランド堅調・増収
- 価格改定（4月、12月:バター）、前年の反動もあり増収
- 価格改定（8月）、PM改善方向へミックス変化
- 「焼プリン」ほか価格改定（4月、7月）

2024年3月期第3四半期 サブセグメント売上高



	23/3期3Q	24/3期3Q	対前年増減率	Point
海外事業				
MILEI (ドイツ)	312億円 222百万€	299億円 189百万€	△4% △15%	➤ 23/3期3Q~24/3期1Q：ホエイ市況影響による拡大 24/2Q~：平準化、反動により減収
NutriCo Morinaga (パキスタン)	-	55億円 105億PKR	-	➤ M&Aにより子会社化、24/3期より連結。育児用ミルクの製造販売。パキスタン現地の通貨安・経済低迷の影響有
Morinaga Nutritional Foods (米国)	29億円 20百万\$	56億円 38百万\$	+97% +90%	➤ M&AによりTurtle Island Foods社をMNF社の子会社化、24/3期より連結、売上高上乘せ。MNF社の豆腐とTIF社の植物由来代替肉とで販売面のシナジー創出、製造効率改善を推進。早期黒字化を目指す
Elovi (ベトナム)	38億円 6,191億VND	36億円 5,833億VND	△6% △6%	➤ 森永乳業ブランド商品（ヨーグルト、栄養補助飲料）拡販。ベトナム現地の経済状況の悪化もあり既存品中心に減収

2024年3月期第3四半期 営業利益増減要因



Point

- 売上単価差：家庭用・業務用価格改定、チャネルミックス改善寄与
- プロダクトミックス等：ビバレッジ、アイス増収効果、MILEI社の反動減などにより3Q海外事業はマイナス
- オペレーションコスト：東京工場跡地売却の一時的な税負担、M&A・のれん償却費用のほか、人件費、物流費など増加
- 原材料・エネルギー価格：輸入乳原料、輸入原料チーズ、包装材料など上昇。エネルギーは前年対比で良化

2. 2024年3月期業績見通し

1. 2024年3月期第3四半期決算概要
2. **2024年3月期業績見通し**

業績予想修正なし

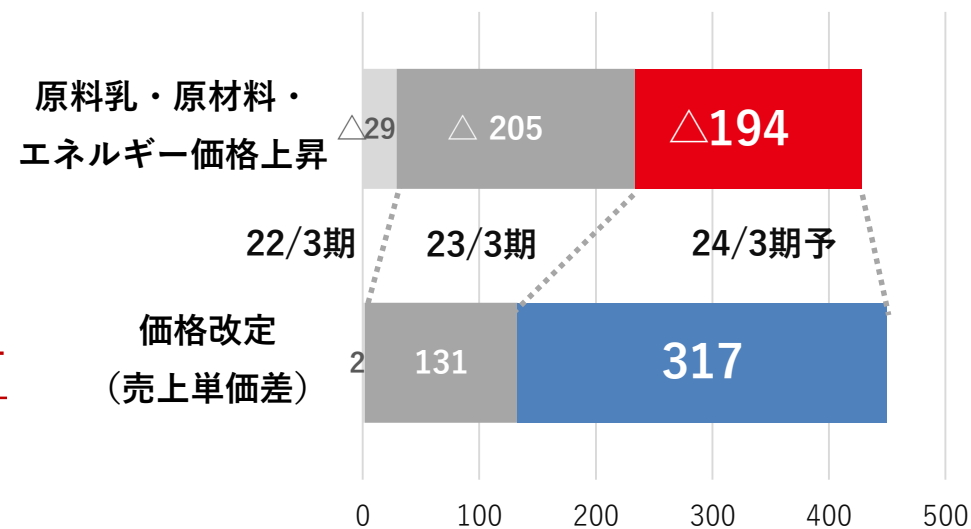
- 売上高：5,500億円（前年比+4.6%） 営業利益：270億円（前年差+31億円）
- 国内の事業は増益計画、海外事業は減益計画

Point

● 国内3事業：3Q進捗良好、4Q費用投下、通期計画線

- 価格改定：原料コスト上昇をカバーする効果を見込む。
エネルギーコストは抑制・良化を見込む
- 高付加価値商品（「マウントレニア」、アイスなど）の拡大、
好天・人流回復の寄与の継続を見込む
- 4Q：ビフィズス菌等のプロモーション費用のさらなる投下
（2月・3月にて集中的に広告投下予定）

原料乳・原材料・エネルギー価格上昇の影響額と
価格改定効果（億円）



業績予想修正なし

- 売上高：5,500億円（前年比+4.6%） 営業利益：270億円（前年差+31億円）
- 国内の事業は増益計画、海外事業は減益計画

Point

● 海外事業：概ね計画線で進捗

- MILEI社：前下期のホエイ市況影響による拡大の反動減
- NutriCo Morinaga社：新規連結による利益寄与
- 米国（TIF社）赤字影響、のれん償却費増加など

①23/3期2Q→24/3期1Q：ホエイ市況影響によるMILEI社一時的拡大

②24/3期1Q→2Q：MILEI社平準化

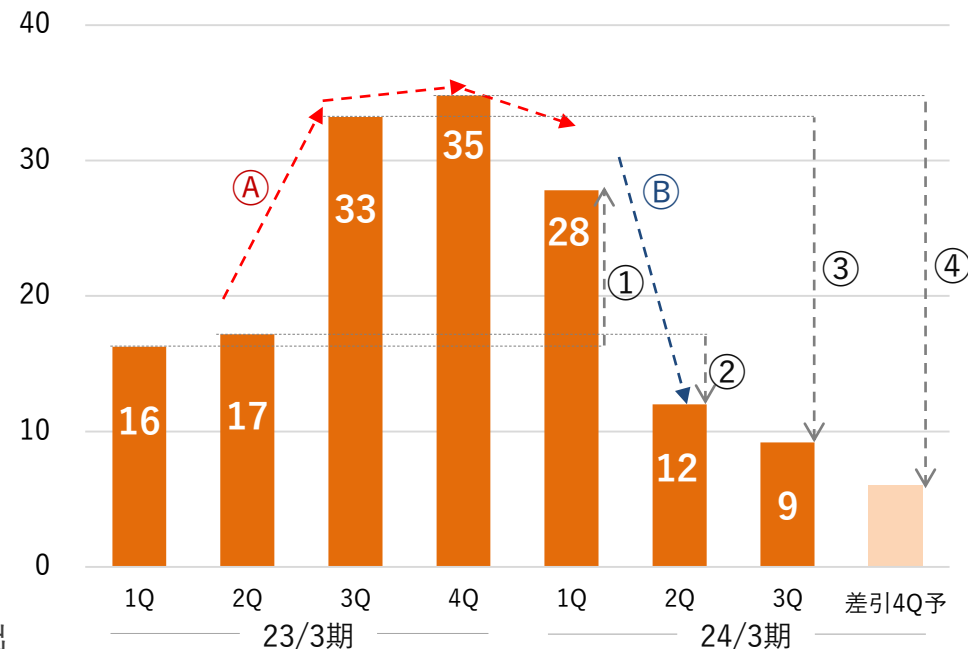
③24/3期1Q前年差：+)MILEI社市況影響、NutriCo Morinaga社新規連結 -)のれん償却

④同2Q前年差：+)MILEI社、NutriCo Morinaga社連結 -)のれん償却、米国、輸出

⑤同3Q前年差：+)NutriCo Morinaga社連結 -)MILEI社大幅反動減、のれん償却、米国、輸出

⑥同差引4Q前年差：3Qと同傾向の見込み

海外事業：四半期毎営業利益（億円）



2024年3月期 業績見通し

配当予想修正



(億円)

	23/3期	24/3期 通期計画	対前年 増減額	対前年 増減率	23/3期 下期	24/3期 下期計画	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	5,256	5,500	+244	+4.6%	2,556	2,634	+78	+3.0%
営業利益	239	270	+31	+12.8%	93	61	△32	△34.1%
経常利益	252	280	+28	+11.0%	95	62	△33	△35.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	169	617	+448	+265.6%	84	25	△59	△69.9%
売上高 営業利益率	4.6%	4.9%	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; text-align: center;">Point</div> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 営業利益計画：270億円（前年差：+31億円） <ul style="list-style-type: none"> +）国内3事業：原料コスト上昇をカバーする価格改定、高付加価値商品拡大、ビフィズス菌等のプロモーション強化 -）海外事業：NutriCo Morinaga社の連結寄与、一方でMILEI社反動減、TIF社赤字、のれん償却費増 ➤ 一株当たり配当金予想：50円 → 60円、配当性向*²：28.0% → 33.6% 中期経営計画での配当方針・配当性向目標に則り修正 					
ROE 当期純利益/自己資本	7.9%	24.5%						
一株当たり配当金	45円 (90円* ¹)	60円 (120円* ¹)						

*1 2023年12月1日実施の株式分割前の水準

*2 東京工場譲渡影響を控除した数値

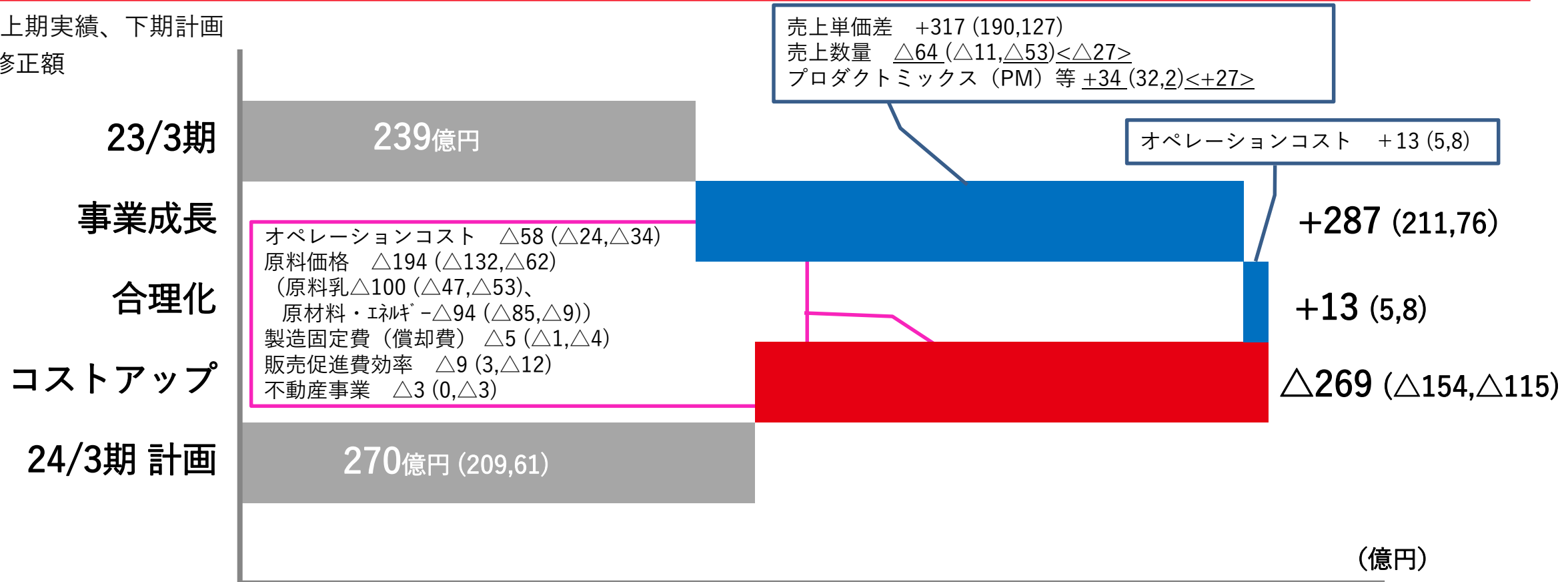
2024年3月期 営業利益増減見通し

内訳調整

「売上数量」と「プロダクトミックス (PM) 等」間の
見直しに伴い調整



() は、上期実績、下期計画
<> は、修正額



Point

- 売上単価差：家庭用・業務用価格改定、チャネルミックス改善寄与
- プロダクトミックス等：ビバレッジ、アイス効果。下期海外減益影響
- 原料価格：輸入乳原料、輸入原料チーズ、包装資材などのコスト増・為替影響。エネルギーはプラス寄与へ
- 販売促進費効率：市場回復に合わせた対応、機能性素材PR強化のため、計画以上の積極的な費用投下を予定

配当予想を増額修正：配当方針・配当性向目標に則り修正

- 中期経営計画での配当方針

基本方針：財務の健全性、内部留保の重要性に留意しつつ、安定的で長期的な配当を実施

配当性向目標：30%（一過性要因を除く）

- 今回、**配当方針・配当性向目標に沿った形で配当予想を増額修正**

2023年10月の配当予想修正後、株主・投資家の皆さまとの対話の中で、配当を含めた株主還元に対する考え方、経営方針・経営指標などに関する数多くの意見を受領。改めて議論・検討を重ねた。

- 一株当たり配当金予想：50円 → **60円 10円増配**

配当性向*1：28.0% → **33.6%**

*1 東京工場譲渡影響を控除した数値

今後の見通しについて、ほか

- 来期（25/3期）は中期経営計画最終年度
次期中計および「森永乳業グループ10年ビジョン」を見据え、取り組み推進
各種業績目標数値等は今期の結果を踏まえ更新予定
- ビバレッジの価格改定（「マウントレニア」「リプトン」など）
2024年3月1日より実施
- 東京証券取引所「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」
現在「検討中」、2024年5月開示予定

1. 改定日および対象商品
 - ・ 2024年3月1日(金)出荷分より改定
 - ・ 飲料：21品
2. 改定内容
 - ① 価格改定商品：19品
価格改定率 5.3%～9.1%
価格改定額 10円
 - ② メーカー出荷価格改定商品：2品
出荷価格改定率 約3.2～3.8%

Appendix

(参考) 2024年3月期 事業分野別売上高、営業利益計画

計画修正なし



(億円)

2024/3期 計画	下期計画		通期計画		下期計画		通期計画	
	売上高	対前年増減率	売上高	対前年増減率	営業利益 (営業利益率)	対前年増減額	営業利益 (営業利益率)	対前年増減額
栄養・機能性食品事業	634	+2.7%	1,270	+2.7%	27 (4.2%)	+6	67 (5.3%)	+11
主力食品事業	826	+7.0%	1,780	+4.6%	9 (1.1%)	+13	89 (5.0%)	+38
B to B 事業	502	+5.6%	980	+5.2%	15 (2.9%)	+8	37 (3.8%)	+22
海外事業	295	△1.6%	638	+7.5%	15 (5.2%)	△53	55 (8.6%)	△46
その他・消去	377	△3.7%	832	+5.1%	△4 (-%)	△6	22 (2.6%)	+6
合計	2,634	+3.0%	5,500	+4.6%	61 (2.3%)	△32	270 (4.9%)	+31

Point

- 栄養・機能性食品事業：原料価格上昇および価格改定。健康価値の訴求継続、ビフィズス菌等のプロモーション強化
- 主力食品事業：原料価格上昇および価格改定。「マウントレニア」、アイスなど高付加価値商品の拡大継続。堅調な推移を見込む
- B to B 事業：乳製品向け乳価上昇（4月、12月）および価格改定。人流回復もあり堅調な推移を見込むも乳製品需給影響による数量抑制継続
- 海外事業：新規連結子会社の寄与（主に売上高）。一方でMILEI社の反動減、TIF社の赤字、のれん償却費計上などにより通期減益見込み

(参考) 2024年3月期 サブセグメント売上高計画

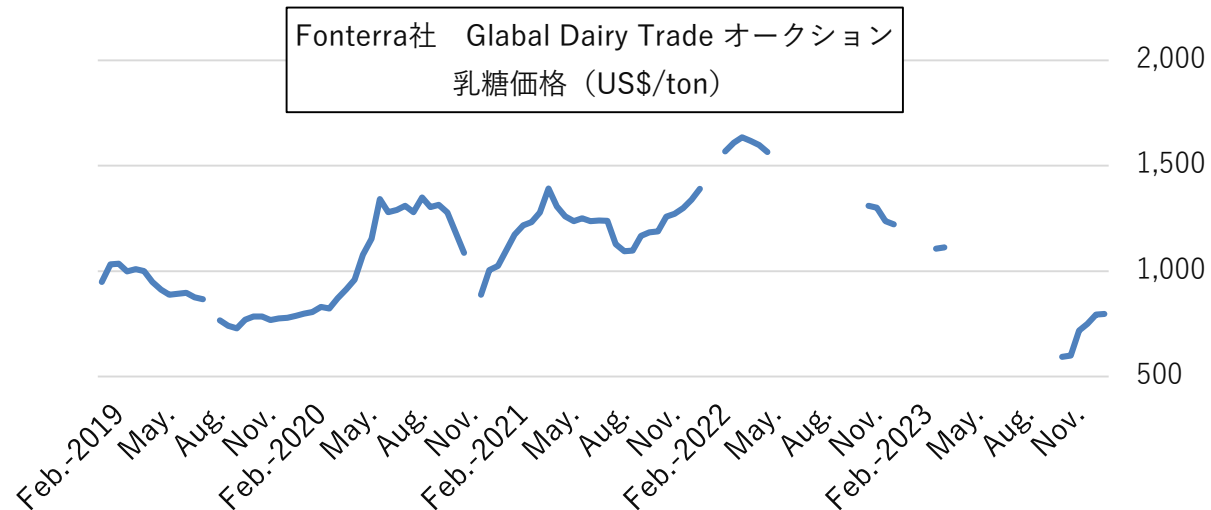
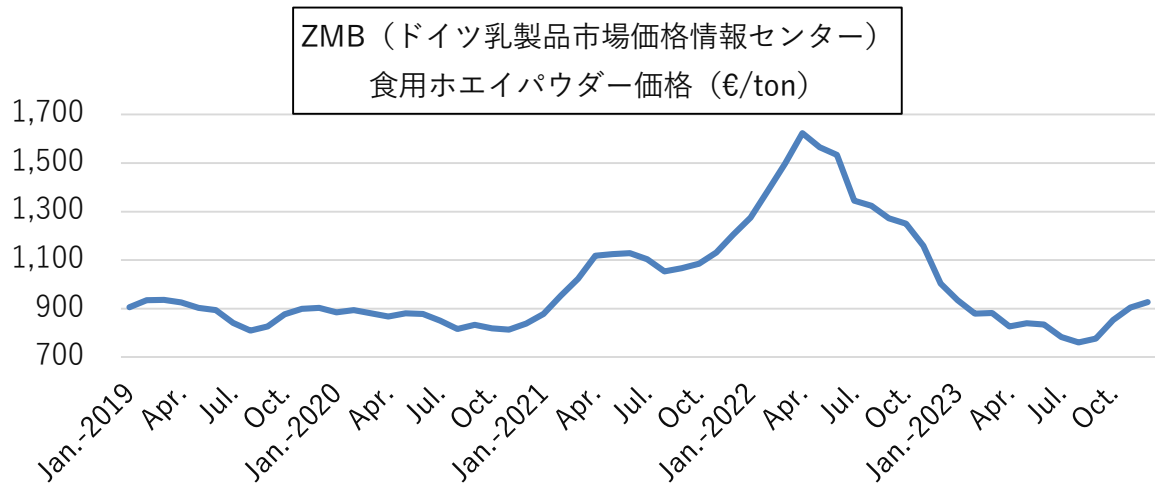
計画修正なし



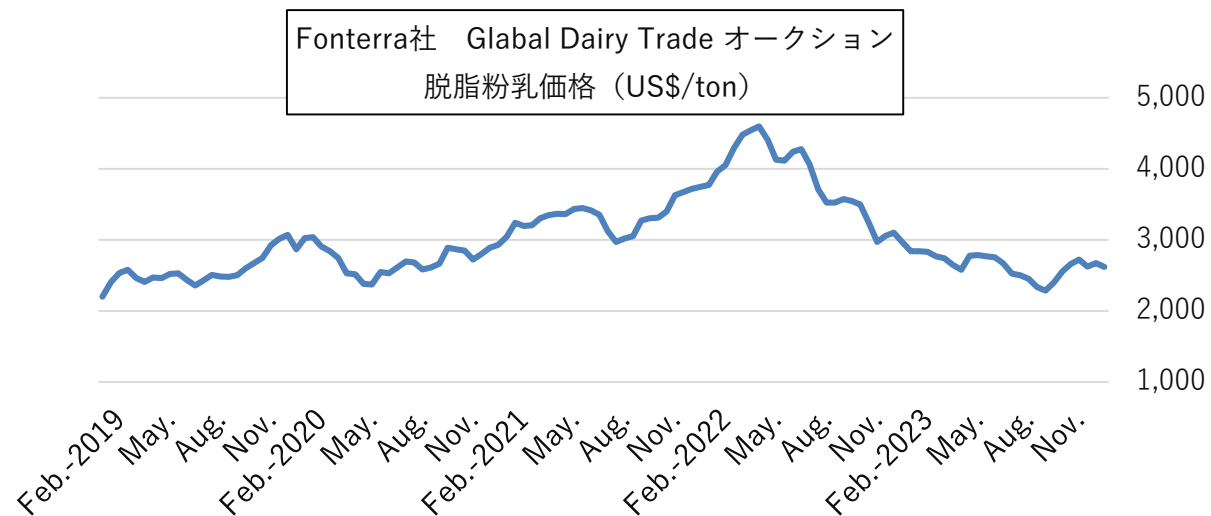
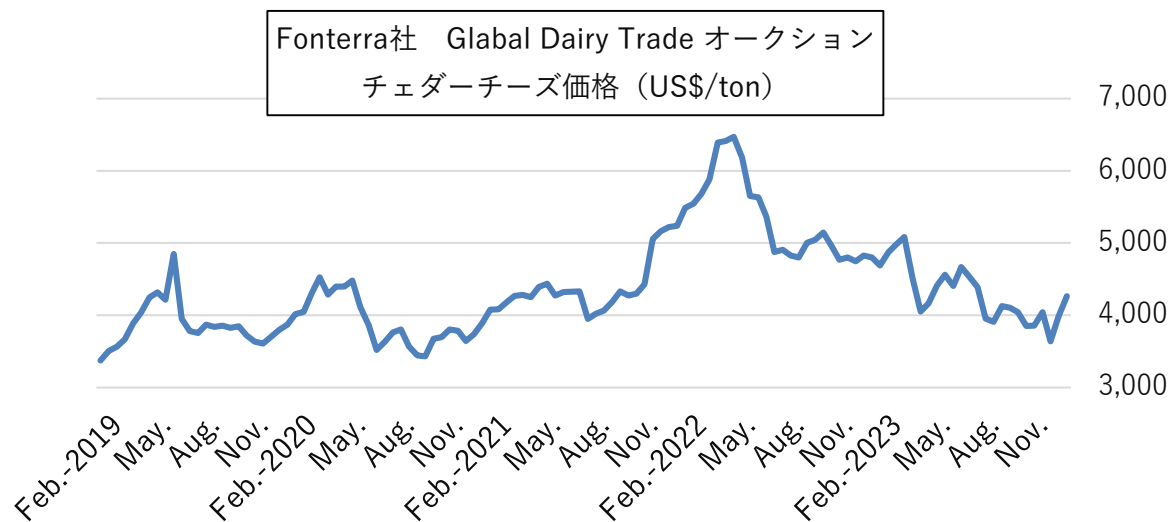
(億円)

2024/3期計画	下期計画		通期計画	
	売上高	対前年増減率	売上高	対前年増減率
栄養・機能性食品事業				
ヨーグルト	261	+2%	539	+1%
市乳（宅配など）	95	△1%	187	△1%
栄養食品	60	△4%	127	+1%
クリニコ	131	+3%	263	+4%
主力食品事業				
ビバレッジ	258	+11%	559	+11%
アイス	175	+8%	450	+7%
チーズ	135	+4%	265	+6%
牛乳	224	+6%	454	+5%
デザート	33	△6%	70	△4%

(参考) 乳原料市況データ (過去5年間)



➤ ドイツ・ミライ社の調達する原料ホエイ価格と相関



Source : ZMB (食用ホエイパウダー)、Fonterra社 Global Dairy Trade オークション (乳糖、チェダーチーズ、脱脂粉乳) *線無し部は売買不成立



かがやく“笑顔”のために

森永乳業株式会社

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。

なお、この資料における記載金額については、億円単位未満を四捨五入して表示しているため、内訳と合計金額等が合わない場合があります。また、特に注記のない場合は、累計値を表示しています。